

その他

最後に このたびのアンケート調査に対するご感想、または三重県政に対するご意見などございましたら、ご自由にお書き下さい。今後の参考にさせていただきます。

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数 5,456 人のうち、1,477 人の方から自由意見が寄せられました。

調査に関する御意見と調査以外のことに関する御意見の 2 つに整理しました。

(1) みえ県民意識調査に関する御意見(256件)

今後できるだけ多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

目的や活用に関すること

- ・ 意識調査を実施することは大切なこと。それを反映させることがもっと大切なこと。
- ・ このアンケート調査は役立つと思うので、今後も続けてほしい。
- ・ アンケート結果の裏にある少数派の意見にも耳を傾けることを願います。
- ・ アンケートをしても無駄。もっと県民のために税金を使ってほしい。
- ・ アンケートだけではなく、現場を訪れて、生の声を聞くことも大切だと思います。

調査票の内容や構成に関すること

- ・ まずは記入する人の年齢や立場から聞いていくのが、答えやすいのではないか。
- ・ 一万人規模の調査なら、世代別に内容を変えるべきではないですか。
- ・ 年齢を考えたアンケート内容にするべき。若い人向けの設問が多かった。
- ・ 何をもちて“幸せ”とするのか。個人の意識が関係するのでとても難しい。
- ・ マル秘なら、もっと詳しい内容でアンケートをとるべきと思う。

その他(実施方法、分析、公表など)に関すること

- ・ 前にも県の調査票がきました。同じ人に来ないようにしてほしい。
- ・ アンケートに回答させる以上、その結果を報告ください。
- ・ インターネットでも出来るようにしてほしい。
- ・ 本人及び家族の住んでいる地域や取り巻く環境によって回答が変わってくると思うので、地域や環境別に集計を行って欲しい。

(2) 調査以外のことに関する御意見 (延べ 1 , 5 8 5 件)

さまざまな分野に関する御意見もたくさんいただきました。

県政に関する御意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民力ビジョン」における 16 の政策別およびその他に分類した内訳は次の通りです。

「みえ県民力ビジョン」

01. 危機管理	71 件
02. 命を守る	77 件
03. 暮らしを守る	45 件
04. 共生の福祉社会	214 件
05. 環境を守る持続可能な社会	42 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	29 件
07. 教育の充実	72 件
08. 子どもの育ちと子育て	147 件
09. スポーツの推進	11 件
10. 地域との連携	50 件
11. 文化と学び	18 件
12. 農林水産業	27 件
13. 強じんて多様な産業	40 件
14. 雇用の確保	133 件
15. 世界に開かれた三重	100 件
16. 安心と活力を生み出す基盤	158 件

その他(行政全般・知事に対して等) 351 件

(参考) 世帯類型の考え方

前回調査では、今回お尋ねした世帯類型ではなく、同居の家族について質問していますが、今回調査との比較を行うため、同居の家族の回答の組み合わせにより、世帯類型を判断しています。

(例)

回答例(同居の家族)	世帯類型
配偶者	一世代世帯
配偶者、親	二世代世帯
配偶者、子ども、孫	三世代世帯
孫	その他世帯
親、その他	その他世帯

回答に「その他」が含まれている場合には、「その他世帯」とみなしました。

(参考) 標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数(N)、および回答率(P)によって決定されます。

標本誤差 $E = \pm 2 \sqrt{\frac{P(100-P)}{N}}$	E : 標本誤差 N : 回答数(人) P : 回答率(%)
--	--------------------------------------

次表は、上式にNとPの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) 標本数(n)	5%	10%	15%	20%	25%	30%	35%	40%	45%	50%
	(95%)	(90%)	(85%)	(80%)	(75%)	(70%)	(65%)	(60%)	(55%)	
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は3%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が50%の場合、信頼度95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100回中95回までは-3%～+3%の間に収まること）では、1,111件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±2%では2,500件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,456件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために十分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

$$\text{サンプル数 } N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P) \quad (1) \quad 1$$

N：サンプル数 P：回答率（%） E：標本誤差 k：信頼度係数 2

1：一般に人口1万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（1）を使用した。

2：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度95%の場合は1.96であるであるが、近似値として2を用いている。

サンプル数決定の早見表(信頼度95%)

標本誤差 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400